

6. 平成22年度～平成26年度 活動実績

1. 未来ビークルシティリサーチセンター主催 地域貢献

—シンポジウム—

■豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター第14回シンポジウム

「次世代都市交通システム・移動体への電池応用」

日 時：平成22年12月6日（月）13：00～16：40

場 所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター

後 援：豊橋市，田原市，豊橋商工会議所，田原市商工会

協 賛：電気化学会電池技術委員会，電気化学会東海支部，電気学会東海支部，
IEEE 名古屋支部，自動車技術会

- ・「世界の二輪EVの現状とホンダの取り組み」

（株）本田技術研究所 二輪R&Dセンター技術開発室 0ブロック 主任研究員
シニアマネージャー 大田 淳朗 氏

- ・「新しい電気自動車と充電インフラの特徴～その普及のために必要な取り組み～」

東京電力（株）技術開発研究所 電動推進グループ 主任研究員 丸田 理 氏

- ・「リチウムイオン電池を用いた電気コミュニティバスの開発と実証試験」

北陸電力（株）技術開発研究所 技術開発チーム 課長 松田 弘治 氏

- ・「大容量ニッケル水素蓄電池ギガセルの各種移動体への適用開発」

川崎重工業（株）車両カンパニー ギガセル電池センター 部長 寺田 誠二 氏
平成22年度研究成果報告

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2011/tut_rcfvc2011_activity.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター第15回シンポジウム

三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト

「電気自動車の普及を促進する電池の有効利用」

日 時：平成23年12月6日（火）13：30～16：20

場 所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター，三遠南信クラスター推進会議

後 援：東三河産業創出協議会，豊橋商工会議所，豊橋市，田原市，田原市商工会

協 賛：電気化学会電池技術委員会，電気化学会東海支部，電気学会東海支部，
IEEE 名古屋支部，自動車技術会

- ・「電気自動車普及協議会の活動とEVコンバージョンガイドラインの紹介」

電気自動車普及協議会 幹事 東京大学大学院工学系研究科 特任教授 草加 浩平 氏

- ・「トヨタが推進する資源循環と車載用ニッケル水素電池のリサイクル」

トヨタ自動車（株）環境部 リサイクル企画室 室長 石本 義明 氏

- ・「車載用リチウムイオン電池の二次利用に関する実証研究」

（株）NTTファシリティーズ 事業開発部 事業企画部門 担当課長 石井 康之 氏

平成23年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2012/tut_rcfvc2012_report_sympo.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター第16回シンポジウム

「環境先進車両の開発動向と次世代給電技術」

日 時：平成24年12月10日（月）13：30～16：10

場 所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後 援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会

協 賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

- ・「走行中の電気自動車へ路面から給電する技術の開発」

豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 大平 孝

- ・「スズキの電気自動車開発への取り組み」

スズキ（株）開発企画部 第二プロジェクト 技術専門職 川島 博幸 氏

- ・「次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組み」

中部経済産業局 次世代自動車室長 柳原 和男 氏

平成24年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2013/tut_rcfvc2013_report_sympto.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター第17回シンポジウム

三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト

「「電池が拓く新しいビークル社会」ーその後5年の歩みと、今後の展望ー」

日 時：平成25年12月9日（月）13：30～16：20

場 所：豊橋技術科学大学 A1講義棟 A1-301

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター、三遠南信クラスター推進会議

後 援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協 賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

- ・「xEVの市場展望と電池業界の課題」

（株）野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部上級コンサルタント
風間 智英 氏

- ・「バッテリーの高エネルギー化に向けた材料課題と解析技術」

日産自動車（株）総合研究所 先端材料研究所 主管研究員 秦野 正治 氏

- ・「パナソニックでのビークル社会への貢献と将来動向」

パナソニック（株） オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社
技術本部 エナジー開発C 技術企画G グループマネージャー 湯浅 浩次 氏

平成25年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2014/tut_rcfvc2014_report_sympto.pdf

- ・豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 第18回シンポジウム

「次世代電動車を牽引する先進電池技術」

日 時：平成26年12月11日（木） 13：30～16：20

場 所：豊橋技術科学大学 A-101講義室

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後 援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協 賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

- ・「燃料電池自動車の現状と今後ーJARIでの水素・燃料電池自動車の安全性に関する活動紹介ー」

（財）日本自動車研究所 FC・EV研究部 次長 三石 洋之 氏

- ・「NEDOにおける次世代蓄電技術開発」

(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構

スマートコミュニティ部 主任研究員(兼) 蓄電技術開発室長 細井 敬 氏

・「超小型モビリティ「FOMM コンセプト One」の設計思想とバッテリー活用技術」

(株) FOMM 代表取締役社長 鶴巻 日出夫 氏

センターHP

http://www.rcfvc.tut.ac.th_symposium_report.jp/18pdf

■豊橋技術科学大学 防災・日本再生シンポジウム「企業防災を軸とする安全安心な地域づくり」

日 時：平成23年12月2日(金) 13:00～17:00

場 所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A101講義室 (CARM と共同主催)

【第1部】『企業BCPの課題と実践』

○基調講演

「ネットワーク型社会の脆弱性と事業継続マネジメント(BCM)

～東日本大震災におけるサプライチェーン途絶の背景と官民連携の重要性～」

名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻 教授 渡辺 研司 氏

○事例報告

・「フォルクスワーゲングループジャパンの取り組み」

フォルクスワーゲングループジャパン 総務課長 中桐 丈夫 氏

・「エクシムの取り組み」

株式会社エクシム 愛知工場長 門脇 丈彦 氏

・「中小企業のBCP」

有限会社アルマック豊橋代表, NPO法人東海リスクマネジメント研究会

代表 彦坂 高司 氏

○総合討論

【第2部】『企業防災から地域防災・地域づくりへの展開』

○基調講演

「企業防災からBCP(事業継続計画), そして地域毎のBCP 協力: District Wide BCP へ」

国土交通省 土地・建設産業局 土地市場課長 西川 智 氏

○事例報告

・「三河港のBCP」

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長 平井 洋次 氏

・「大規模災害に対する豊橋市の対応」

豊橋市 副市長 有安 敬 氏

・「災害時の交通と輸送」

豊橋技術科学大学 教授 廣島 康裕

・「災害時の自然エネルギー利用」

豊橋技術科学大学 教授 滝川 浩史

○総合討論

平成23年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2012/tut_rcfvc2012_report_others.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム

「低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ」

日 時 平成27年3月10日(火) 13:00～17:00

場 所 豊橋商工会議所 9F 大ホール

【第一部】研究成果報告

- ・「バッテリーレス電動カートの走行実験」
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 大平 孝
- ・「ドライバ個性に着目した社会共生型安全運転支援に関する研究」
豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 章 忠
- ・「交通弱者の安全・安心のためのシステムの開発」
豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 准教授 金澤 靖
- ・「豊橋市における電気自動車導入の環境・経済的影響評価」
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授 宮田 謙
- ・「未来ビークルライフに向けたエネルギーの創生と利用」
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 滝川 浩史

【第二部】パネルディスカッション

『低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ』

○話題提供

- ・「豊橋市における地球温暖化防止の取組みについて」
豊橋市環境部温暖化対策推進室長 黒柳 哲禎 氏
- ・「三河港における自動車産業の利用状況と港湾整備について」
国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長 鈴木 信昭 氏
- ・「交通と低炭素社会における取組みについて」
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長 林 良嗣 氏
- ・「自動車産業の最近の動向と中部地域の取組について」
経済産業省中部経済産業局産業部自動車関連産業室長 柳原 和男 氏
- ・「クリーンディーゼルエンジンを支える技術取組み」
(株) デンソー ディーゼルシステム技術部 担当部長 小久保 直樹 氏

○討論

—講演会—

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター講演会

「サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業」

日 時：平成25年11月7日（木）18：00～20：00

場 所：田原文化会館 多目的ホール

- ・「未来の電気自動車」
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 大平 孝
- ・「未来ビークルと港湾の地域経済への影響」
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授 渋澤 博幸
- ・「リチウムイオン電池の現状と課題」
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

平成25年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2014/tut_rcfvc2014_report_activity.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター講演会

「EV+ITS+再生可能エネルギーによる地域型社会モデル構築」

日 時：平成26年9月30日（火）13：30～15：00

場 所：豊橋技術科学大学 A-101 講義室

講演者：東北大学 未来科学技術共同研究センター 副センター長／教授 鈴木 高宏 氏
センターHP

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/Lecture_Report_140930.pdf

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター講演会

「燃料電池車に適応する水素貯蔵材料の可能性について」

日 時：平成26年11月19日（水）15:00～16:30

場 所：豊橋技術科学大学 A-109 講義室

講演者：豊田中央研究所 主任研究員 三輪 和利 氏
センターHP

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/Lecture_Report_2014_11_19.pdf

—市の施設を利用した地域貢献—

■豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

研究成果展示『低炭素と安心安全を目指す街：豊橋』

日 時：平成25年1月7日（月）～11日（金）
10:00～16:00（月曜日のみ13:00～）

場 所：豊橋市役所 東館1階 市民ギャラリー

内 容：ポスター展示、電化道路電気自動車 1/10 モデル動態（大平研究室）、ドライビングシミュレータ（章研究室）やマルチプロジェクトンシステム（金澤研究室）などの体験型デモンストラーション

平成24年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2013/tut_rcfvc2013_report_activity.pdf

■ぎかだいがやってくる エコエネを感じよう！

日 時：平成25年11月16日（土）9:30～14:30

場 所：豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 滝川・須田研究室

後 援：豊橋市

内 容：ポスター展示、EV 牽引車（電気バス）の試乗会と子供向けのサボニウス風車作り

平成25年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2014/tut_rcfvc2014_report_ecoenergy.pdf

■ぎかだいがやってくる 体験！未来ビークルシティ （お出かけミニ講座）

日 時：平成25年11月23日（祝・土）～24日（日）両日 10:00～16:00

場 所：こども未来館ここにこ

主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後 援：豊橋市

内 容：ポスター展示、交通安全に関する研究をドライビングシミュレータ（章・今村研究室）や全周マルチプロジェクトンシステム（金澤研究室）など、体験型デモンストラーションを通じて紹介。学生フォーミュラのレーシングカーの展示、スタンプラリー、自動車や都市等に関する三択クイズ、「未来ののりもの」のお絵かき

平成25年度研究成果報告書

http://www.rcfvc.tut.ac.jp/project_report2014/tut_rcfvc2014_report_experience.pdf

2. その他学内での地域貢献

—オープンキャンパス—

■第27回豊橋技術科学大学オープンキャンパス

日 時：平成22年8月29日（日）10：00～16：00

場 所：豊橋技術科学大学

内 容：ポスター展示，電気自動車の展示・説明（滝川研究室）

■第28回豊橋技術科学大学オープンキャンパス

日 時：平成23年8月27日（土）10：00～16：00

場 所：豊橋技術科学大学

内 容：ポスター展示，オリジナル小型電気自動車（EV）の試乗会（滝川研究室）

■第29回豊橋技術科学大学オープンキャンパス

日 時：平成24年8月25日（土）10：00～16：00

場 所：豊橋技術科学大学

内 容：ポスター展示，オリジナル小型電気自動車（EV）の試乗会（滝川研究室），ドライビングシミュレータを用いた仮想まち作り体験と運転（章研究室），全周マルチプロジェクションシステムを用いた高齢者や視覚障害者への標識強調提示・全方位カメラを用いた危険検知（金澤研究室），電動アシスト付き自転車の試乗会（後藤研究室），スタンプラリー

■第30回豊橋技術科学大学オープンキャンパス

日 時：平成25年8月31日（土）10：00～16：00

場 所：豊橋技術科学大学

内 容：ポスター展示，オリジナル小型電気自動車（EV）の試乗会（滝川・田上研究室），ドライビングシミュレータを用いた仮想まち作り体験と運転（章・今村研究室），高齢者の視覚をシミュレートした交差点での全周投影映像（金澤研究室），電動アシスト付き自転車の試乗会（後藤研究室），波動おもしろ実験（大平研究室），スタンプラリー，未来ビークルシティクイズ

■第31回豊橋技術科学大学オープンキャンパス

日 時：平成26年8月23日（土）10：00～16：00

場 所：豊橋技術科学大学

内 容：ポスター展示，オリジナル小型電気自動車（EV）の試乗会（滝川研究室），ドライビングシミュレータを用いた仮想まち作り体験と運転（廣島・松尾研究室），高齢者の視覚をシミュレートした交差点での全周投影映像（金澤研究室），電動アシスト付き自転車の試乗会（後藤研究室），波動おもしろ実験（大平・田村・坂井研究室），自動運転技術の紹介と試乗会（三浦研究室），スタンプラリー，未来ビークルシティクイズ

—豊橋技術科学大学一般公開講座—

■「ビークルシティの未来」

○「電動二輪車に乗ってみますか？—普及に向けた環境心理学研究—」

日 時：平成26年11月7日（金）18：30～20：00

場 所：豊橋技術科学大学 A2-101講義室

講演者：環境・生命工学系 准教授 後藤 尚弘

○「未来ビークル導入の環境・経済的影響評価」

日 時：平成26年11月28日（金）18：30～20：00

場 所：豊橋技術科学大学 A2-101講義室

講演者：建築・都市システム学系 教授 宮田 譲

講演者：建築・都市システム学系 准教授 渋谷 博幸

○「未来ビークルシティと交通システム」

日 時：平成26年12月5日（金）18：30～20：00

場 所：豊橋技術科学大学 A2-101講義室

講演者：建築・都市システム学系 教授 廣畠 康裕

3. その他地域貢献

■あいち大学セミナー

○「ITS の今と未来 ～つながるクルマ社会～」

日 時：平成24年11月5日（月）

場 所：豊橋技術科学大学 講義室 A1-101

講演者：(株)デンソー 情報通信事業部 担当課長 浜田 隆彦 氏

○「ITS と次世代自動車を支える半導体技術」

日 時：平成25年度12月16日（月）

場 所：豊橋技術科学大学 講義室 A1-101

講演者：(株)デンソー IC技術1部 担当次長 飯田 眞喜男 氏

○「ITS と次世代自動車を支える半導体技術」

日 時：平成26年12月15日（月）

場 所：豊橋技術科学大学 講義室 A1-101

講演者：(株)デンソー IC技術1部 担当次長 飯田 眞喜男 氏、

■時習館高校 SSH「SS 技術科学」

○「交通安全支援技術の体験」（章研究室）

日 時：平成24年9月27日（木）～28日（金）

場 所：豊橋技術科学大学

○「交通安全支援技術の体験」（章研究室）

日 時：平成25年9月5日（木）～6日（金）

場 所：豊橋技術科学大学

—講座・シンポジウム—

■科学三昧 in あいち（高校生向け講座）（大平研究室）

日 時：平成24年12月26日（水）

場 所：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター

内 容：電化道路電気自動車EVERの動態

■名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター

第18回次世代自動車公開シンポジウム

「愛知県内4大学合同次世代モビリティシンポジウム」/平成26年度NEDO特別講座

「環境考慮型モビリティ技術経営特別講座」報告会（併催）

日 時：平成27年2月13日（金）13：00～17：55

場 所：名古屋大学 経済学部 1階第1講義室

・「豊橋市における電気自動車関連産業発展の環境・経済的影響評価」

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 副センター長／

建築・都市システム学系 教授 宮田 譲

—フォーラム—

■三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト

ものづくり産業活性化フォーラム in とよはし

「次世代ビークルへの挑戦」

日 時：平成22年9月17日（金）

場 所：豊橋商工会議所 9階ホール

■平成22年度広域的産業立地・人材養成等支援事業（経済産業省）

低炭素社会に向けてのグリーンエネルギーフォーラム

日 時：平成22年9月27日（月）

場 所：アクトシティ浜松 コンgressセンター 22・23会議室

■次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー&ラボツアー

「車両軽量化技術の研究開発・技術紹介」

共 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

日 時：平成24年3月23日（金）

場 所：豊橋技術科学大学 総合研究実験棟9階 セミナー室

■あいち大学「学び」フォーラム2014

日 時：平成26年8月9日（土）9：40～11：10

場 所：愛知大学 豊橋キャンパス

・「インフラからの波動エネルギーで走り続ける未来ビークル「EVER」」

豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 大平孝

—研修会・交流会—

■浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション 第1回CES研修会

日 時：平成23年10月25日（火）13：20～16：40

場 所：アクトシティ浜松 コンgressセンター 43会議室

・「豊橋技術科学大学・未来ビークルシティリサーチセンターの活動と今後」

豊橋技術科学大学 副学長／未来ビークルシティリサーチセンター長

教授 角田 範義

■国際自動車コンプレックス研究会 第41回 研究交流会

日 時：平成26年6月19日（木） 14：00～16：00

場 所：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール

・「三河港における交通渋滞対策に伴う諸問題の軽減策の検討」

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授 廣畠 康裕

・「三河港に立地する企業の経済波及効果の計測」

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授 洪澤 博幸

—展示会等—

■ 研究成果報告展示会

○豊橋市大学連携調査研究費補助金研究 研究成果報告会

日 時：平成25年9月25日（水）～30日（月）（土・日除く） 10：00～16：00

場 所：豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー

内 容：ポスターの展示（平成24年度の研究成果）、電気自動車の展示（滝川・田上研究室）・全方位カメラによる危険検知のデモンストレーション（金澤研究室）

○豊橋市大学連携調査研究費補助金研究 研究成果報告会

日 時：平成26年5月19日（月）～23日（金） 10：00～16：00

場 所：豊橋市役所 東館1階 市民ギャラリー

内 容：ポスター展示（平成25年度の研究成果）、電動化レーシングカートの展示（滝川研究室）、電化道路電気自動車 EVER（大平・田村・坂井研究室）・2色覚の方に色を見やすくするための画像処理・全方位カメラを用いた交通弱者のための危険検知システム（金澤研究室）の体験型デモンストレーション

■豊川市政執行70周年記念行事

エネエネわっしょい！！ ～あしたをつくろう～

日 時：平成25年9月23日（月・祝）

場 所：豊川市総合体育館正面玄関広場 エネルギー体験ブース

内 容：「体験！親子で一緒にエネルギーであそぼう！」

子供向けのサボニウス風車作り等（滝川・田上研究室）

■ぎかだいがやってくる！～運転手になってみよう！～

（「おいでよ！交通の森」内 お出かけミニ講座）

日 時：平成26年10月5日（日） 10：00～16：00

場 所：豊橋市交通児童館

主 催：豊橋市交通児童館

共 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

内 容：ポスター展示、ミクロ交通シミュレータ・ドライビングシミュレータを用いた体験型交通教育（廣畠・松尾研究室）

■ものづくり博・ものづくりフェア

○ものづくりフェア2010 in 東三河

日 時：平成22年度11月26日（金）～27日（土） 両日とも10：00～17：00

場 所：豊橋市総合体育館

○ものづくり博2012 in 東三河

日 時：平成24年11月30日（金）～12月1日（土） 両日とも10:00～17:00

場 所：豊橋市総合体育館

内 容：未来の‘のりもの’コンクール in ものづくり博 2012の実施

（主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター，豊橋ものづくり振興会）
ドライビングシミュレータを用いた運転体験（章研究室）

○ものづくり博2014 in 東三河

日 時：平成26年10月31日（金）～11月1日（土） 両日とも10:00～17:00

場 所：豊橋市総合体育館

内 容：ポスター展示，電動化レーシングカート（滝川研究室），自動車エンジンのカットモデル（安井研究室），レーシングカート（学生フォーミュラ）を展示

■あいちITSワールド

○あいちITSワールド2011

日 時：平成23年12月22日（木）～25日（日）

場 所：ポートメッセ名古屋（名古屋市国際展示場）

内 容：ドライバの行動計測に基づく安全運転支援システムのデモンストレーション（章研究室），レーシングカート（学生フォーミュラ）の展示

○あいちITSワールド2013

日 時：平成25年12月12日（木）～15日（日）

場 所：ポートメッセ名古屋（名古屋市国際展示場）

内 容：電気自動車の給電システム（電化道路電気自動車EVERの動態）（大平研究室）

■CEATEC JAPAN

○CEATEC JAPAN 2012

日 時：平成24年10月2日（火）～6日（土） 10:00～17:00

場 所：幕張メッセ

内 容：市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演（大平研究室）（5日まで実演）

○CEATEC JAPAN 2014

日 時：平成26年10月7日（火）～11日（土） 10:00～17:00

場 所：幕張メッセ

内 容：ワイヤレス電動カートの実演（大平・田村・坂井研究室），屋外環境認識および自動運転技術の紹介（三浦研究室），全方位カメラを用いた危険検知システムの紹介（金澤研究室）

■クルマ博2012

日 時：平成24年11月16日（金）～18日（日）

場 所：愛・地球博記念公園

内 容：市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演
（大平研究室）

■MICROWAVE WORKSHOPS & EXHIBITION

○MICROWAVE WORKSHOPS & EXHIBITION 2013

日 時：平成25年11月27日（水）～29日（金）
場 所：パシフィコ横浜
内 容：電化道路電気自動車EVERの動態（大平研究室）

OMICROWAVE WORKSHOPS & EXHIBITION 2014

日 時：平成26年度12月10日（水）～12日（金）
場 所：パシフィコ横浜
内 容：高周波分野に関する研究発表（田村研究室）

■エコマラソン

日 時：平成23年9月18日（日）
場 所：エムウェーブ（長野オリンピック記念アリーナ内）
後 援：豊橋技術科学大学

■第20回三遠南信サミット 2012 in 東三河

日 時：平成24年10月2日（火）
場 所：ホテル日航豊橋
内 容：ポスター展示

■高等学校エコカーレース総合大会

○第11回高等学校エコカーレース総合大会

日 時：平成25年6月2日（日）
場 所：ユタカ自動車学校特設コース
後 援：豊橋技術科学大学

○第12回高等学校エコカーレース総合大会

日 時：平成26年6月1日（日）
場 所：ユタカ自動車学校特設コース
後 援：豊橋技術科学大学

4. 受賞

■宮田 譲 教授

[1]宮田 譲・渋澤 博幸，日本環境共生学会学会賞＜環境共生学術賞＞論文賞，Does a Decrease in the Population Prevent a Sustainable Growth of an Environmentally Friendly City? - A Comparison of Cases of Decreasing and Increasing Populations of Obihiro Metropolitan Area, Japan by Intertemporal CGE-Modeling Approach -(Interdisciplinary Information Sciences, Vol.14, No1, 2008, pp.1-24), 第14回日本環境共生学会学術大会，2011.9.17

■渋澤 博幸 准教授

[1]渋澤 博幸，日本地域学会論文賞，社会的便益の評価手法に関する研究－技術的伝播拡散の外部性を考慮した一般均衡モデルを用いて－，日本地域学会，2010.10.10

[2] 宮田 譲・渋澤 博幸，日本環境共生学会学会賞＜環境共生学術賞＞論文賞，Does a Decrease in the Population Prevent a Sustainable Growth of an Environmentally Friendly City? - A Comparison of Cases of Decreasing and Increasing Populations of Obihiro Metropolitan Area, Japan by Intertemporal CGE-Modeling Approach -(Interdisciplinary Information Sciences, Vol.14, No1, 2008, pp.1-24), 第14回日本環境共生学会

学術大会, 2011.9.17

■大平 孝研究室

- [1]CEATEC AWARD 2012 次世代イノベーション・キーテクノロジー部門準グランプリ, CEATEC JAPAN 2012, 2012.10.10
- [2]波動工学研究室「日経エレクトロニクス読者賞」, NE ジャパン・ワイヤレス・テクノロジー・アワード, 2013.05.21
- [3]波動工学研究室「MWE2013 大学展示優秀発表賞」, Microwave Workshop Exhibition 2013, 2013.11.29.
- [4]大平 孝 [フェロー称号] 電子情報通信学会 2014-9-24.
- [5]CEATEC AWARD 2014, 米国メディアパネル・イノベーションアワード Transportation 分野ファイナリスト, 2014.10.9
- [6]田村研究室「大学展示コンテスト 優秀賞」 MWE 2014 実行委員会, 2014.12.12

■後藤 尚弘 准教授

- [1]ESD アワード リサーチ賞 (愛知学長懇話会主催) Study of factors affecting on public intentions and behaviors toward the usage of bicycle-style

新聞掲載一覧（平成22年度～平成26年度）

掲載日	新聞社名	番号	テーマ
平成22年 8月19日	東愛知新聞	①	三河湾の環境 2氏語る 東三河産学官 交流サロン例会
平成22年 11月22日	東日新聞	②	新しい電池 応用シンポ 来月6日に技科大で
平成22年 12月7日	東愛知新聞	③	次世代EVの研究状況紹介 豊橋技科大ビークルリサーチセンターがシンポ
平成23年 10月24日	日本経済新聞	④	「ポストリチウムイオン」開発競争 電池容量、倍増も 旭化成など基礎研究
平成23年 12月2日	中部経済新聞	⑤	EV普及促進へ 電池利用シンポ 豊橋技科大など
平成23年 12月7日	中部経済新聞	⑥	ガイドラインの背景説明 豊橋技科大 EV普及でシンポ
平成24年 3月13日	東日新聞	⑦	園内を電気バス走る 豊橋技科大が導入実験 のんほいパーク
平成24年 3月13日	東愛知新聞	⑧	園内バスけん引EV導入 来年度中にも運行開始 豊橋総合動植物公園で走行実験
平成24年 8月30日	東日新聞	⑨	最新型太陽電池で実験 日進月歩データで明らかに 高校生が確かめる 技科大の滝川教室
平成24年 9月5日	東愛知新聞	⑩	描こう！！未来の「乗り物」 東三河地域の小中学生対象 ポスターコン作品募集 「ものづくり博」イベントの一環
平成24年 10月20日	東日新聞	⑪	電気バイクでCO ₂ 削減 豊橋技科大が社会実験
平成24年 11月1日	中部経済新聞	⑫	クルマ未来博2012 出展企業紹介 11月16～18日モリコロパークで 走行中車両への給電システム 豊橋技術科学大学 大平研究室
平成25年 1月10日	東愛知新聞	⑬	環境、交通など安心安全なまちへ 研究成果をパネルで紹介 豊橋技科大と市の連携事業
平成25年 1月21日	東愛知新聞	⑭	電気バイクの普及に向け 市役所公用車として社会実験 豊橋技科大、市、スズキ共同で実施中 “長所”や“短所”明らかに

掲載日	新聞社名	番号	テーマ
平成 25 年 6 月 22 日	東日新聞	⑮	豊橋技科大 大平研究室 走行中 EV へのワイヤレス給電技術 日経エレクトロニクス 読者賞を受賞
平成 25 年 10 月 21 日	東日新聞	⑯	リチウム電池の現状など紹介 7 日に豊橋技科大講演会 田原
平成 25 年 11 月 17 日	東愛知新聞	⑰	電池バスの乗り心地は？ ＝豊橋総合動植物公園で試乗会＝ 技科大生らコストや性能調査
平成 25 年 11 月 24 日	中日新聞	⑱	自動車の安全運転 模擬体験で”予習” 豊橋こども未来館
平成 25 年 11 月 24 日	東愛知新聞	⑲	安全安心 未来の車社会 ここにこで子ども向け講座 豊橋技科大の研究組織
平成 25 年 11 月 24 日	東日新聞	⑳	子どもたちも自動車体験！こども未来館ここにこ 豊橋技科大が未来ビークルシティ開催 交通安全を啓発
平成 25 年 12 月 6 日	東日新聞	㉑	電池の未来と課題など講演 9 日技科大でシンポ
平成 26 年 5 月 20 日	東愛知新聞	㉒	3 大学の研究成果 豊橋市役所で展示 市の補助金を活用
平成 26 年 9 月 29 日	東日新聞	㉓	タイヤ集電方式でのカート有人走行 豊橋技科大 実験に成功 大成建設と共同 充電なしで長距離走行も
平成 26 年 10 月 4 日	毎日新聞	㉔	床から電気供給 カート走行 豊橋技科大が成功
平成 26 年 10 月 10 日	朝日新聞	㉕	床から電気カート走る 道路下の高周波電流、タイヤ通 じ取り込み 豊橋技科大と企業が有人実験 車両を軽量化■工場や物流施設での利用想定
平成 26 年 11 月 25 日	読売新聞	㉖	床から給電 走行成功 豊橋技科大 タイヤしカートに
平成 26 年 11 月 27 日	東日新聞	㉗	「次世代電動車両を牽引する先進電池技術」 技科大でシンポ開催
平成 26 年 12 月 19 日	中日新聞	㉘	床から給電 電動カート 豊橋技科大教授らが開発
平成 26 年 12 月 21 日	東愛知新聞	㉙	走りながら給電が可能 将来的には高速で実用化を 豊橋技科大・大平教授の研究室 電動カートの走行実験成功

映像報道一覧（平成26年度）

掲載日	サイト名	テーマ
平成26年 5月21日	NHK 東海 NEWS WEB	電化道路を走るシステムを紹介
平成26年 10月8日	YouTube CEATEC JAPAN	走行中給電によるバッテリーレス電動カートの有人走行に成功 豊橋技術科学大学/大成建設(株)（ユニバーシティエリア）
平成26年 10月9日	YouTube CEATEC JAPAN	豊橋技術科学大学未来ビークルシティ RC 研究紹介
平成26年 10月22日	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト：トレンドたまご【トレたま】 タイヤから充電
平成27年 1月28日	NHK 総合 名古屋 ニュース	電化道路を走るシステムを紹介（ほっとイブニング）



次世代都市交通システム・移動体への電池応用

低炭素社会実現に向けて、大幅な燃費向上・CO₂排出量削減に威力を発揮する高性能二次電池が注目を集めています。

本シンポジウムでは、電動二輪車、EV、コミュニティ電気バス、路面電車、トランスファークレーンなど、地域社会から港湾に至るさまざまな利用シーンで普及が期待されている低環境負荷型移動体への新しい電池応用に関して、この分野の第一線でご活躍中の講師の方々にご講演

参加費
無料

EV
Electric motorcycle
Electrical Bus LRT
Transfer Crane
BATTERY

平成22年12月6日(月)

13:00~16:40

豊橋技術科学大学 講義棟 A-101

プログラム

13:00~13:10	未来ビークルリサーチセンター紹介	豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルリサーチセンター長 角田 範義
13:10~14:00	講演1 「世界の二輪EVの現状とホンダの取り組み」	本田技術研究所 二輪 R&D センター 技術開発室 0ブロック 主任研究員、シニアマネージャー 大田 淳朗氏
14:00~14:50	講演2 「新しい電気自動車と充電インフラの特徴 ～その普及のために必要な取り組み～」	東京電力㈱ 技術開発研究所 電動推進グループ 主任研究員 丸田 理氏
14:50~15:00	休憩	
15:00~15:50	講演3 「リチウムイオン電池を用いた電気コミュニティバスの開発と実証試験」	北陸電力㈱ 技術開発研究所 技術開発チーム 課長 松田 弘治氏
15:50~16:40	講演4 「大容量ニッケル水素蓄電池ギガセルの各種移動体への適用開発」	川崎重工業㈱ 車両カンパニー ギガセル電池センター 部長 寺田 誠二氏

■ 参加申込〆切 : 平成22年11月29日(月)

■ 申込方法 : 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mailまたはFAXにて下記まで。

■ 申込先 : 豊橋技術科学大学 研究協力課 研究センター係

E-mail kencen@office.tut.ac.jp

FAX 0532-44-6568

■ 世話人・問合せ先 : 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司

E-mail sakurai@ee.tut.ac.jp

Tel/FAX 0532-44-6722

主催 : 豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター

後援 : 豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会

協賛 : 電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE名古屋支部、自動車技術会

**豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 第15回シンポジウム
三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト**

「電気自動車の普及を促進する電池の有効利用」

【概要】

低炭素社会実現に向けて、自動車の電動化とその普及を促進する電池のリサイクル・リユースが注目を集めています。

本シンポジウムでは、電気自動車の普及活動状況ならびにガソリン車のEV化を安全性・信頼性を担保して行うために最近策定されたガイドライン、および、事業化が始まったHV用ニッケル水素電池のリサイクル、これからのビジネスとしてのEV用リチウムイオン電池の二次利用形態に関して、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

●日時： 平成23年12月6日（火）13:30～16:20

●場所： 豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101

（地図： <http://www.tut.ac.jp/intr/in01/in0113/index.html> ）

●主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター、三遠南信クラスター推進会議

●後援（予定）：東三河産業創出協議会、豊橋商工会議所、豊橋市、田原市、田原市商工会

●協賛（予定）：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、

IEEE 名古屋支部、自動車技術会

時間	プログラム	講演者
13:30 ～13:35	開会挨拶	豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義
13:35 ～14:25	【講演1】 「電気自動車普及協議会の活動と EV コンバージョンガイドラインの紹介」	電気自動車普及協議会 幹事 東京大学大学院工学系研究科特任教授 草加 浩平 氏
14:25 ～14:35	休憩	
14:35 ～15:25	【講演2】 「トヨタが推進する資源循環と車載用ニッケル水素電池のリサイクル」	トヨタ自動車(株) 環境部 リサイクル企画室 室長 石本 義明 氏
15:25 ～16:15	【講演3】 「車載用リチウムイオン電池の二次利用に関する実証研究」	(株)NTT ファシリティーズ 事業開発部 事業企画部門 担当課長 石井 康之 氏
16:15 ～16:20	閉会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

●参加費： 無料

●参加申込〆切： 平成23年11月29日（火）

●申込方法： 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて下記まで。

●申込先： 豊橋技術科学大学 研究協力課 研究センター係

E-mail: kencen@office.tut.ac.jp , FAX: 0532-44-6568

●世話人・問合せ先： 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司

E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722

企業防災を 軸とする 安全安心な 地域づくり

企業防災は大災害から地域が力強く復興する上で非常に重要です。本シンポジウムでは、
 【第1部】で企業BCP(事業継続計画)の課題や防災における産官学連携について、
 【第2部】で企業防災の地域防災への展開について議論し、企業防災を軸とする安全安心な地域づくりや未来の地域のあり方について考えます。

Disaster prevention
and
revitalization of Japan
symposium

第1部

企業BCPの課題と実践

講師

渡辺 研司

名古屋工業大学大学院工学研究科
社会工学専攻 教授

第2部

企業防災から地域防災・ 地域づくりへの展開

講師

西川 智

国土交通省土地・建設産業局土地市場課長

日 時

平成23年 **12月2日** 金 13:00~17:00

場 所

豊橋技術科学大学 A棟101講義室

豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1



国立大学法人 豊橋技術科学大学

安全安心地域共創リサーチセンター
未来ビークルシティリサーチセンター

共催: (社) 国立大学協会

お申し込み・
お問い合わせ

安全安心地域共創リサーチセンター(担当: 古賀・佐野・柴田)
 TEL: 0532-44-1320 もしくは 0532-44-6574
 FAX: 0532-44-6568 E-mail: carm@office.tut.ac.jp

企業防災を軸とする安全安心な地域づくり

プログラム

司会進行／青木 伸一(安全安心地域共創リサーチセンター長)

13:00 主催者挨拶 榊 佳之(豊橋技術科学大学長)

第1部 企業BCPの課題と実践

13:10 基調講演 渡辺 研司氏(名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻 教授)
「ネットワーク型社会の脆弱性と事業継続マネジメント(BCM)
～東日本大震災におけるサプライチェーン途絶の背景と官民連携の重要性～」

13:50 事例報告
・「フォルクスワーゲングループジャパンの取組み」…中桐 丈夫氏(フォルクスワーゲングループジャパン 総務課長)
・「エクシムの取組み」…門脇 丈彦氏(株式会社エクシム 愛知工場長)
・「中小企業のBCP」…彦坂 高司氏(有限会社アルマック豊橋代表、
NPO法人 東海リスクマネジメント研究会代表)

14:35 総合討論

14:50 休憩
15:00

第2部 企業防災から地域防災・地域づくりへの展開

15:00 基調講演 西川 智氏(国土交通省 土地・建設産業局 土地市場課長)
「企業防災からBCP(事業継続計画)、そして地域毎のBCP協力:District Wide BCPへ」

15:40 事例報告
・「三河港のBCP」…平井 洋次氏(国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長)
・「大規模災害に対する豊橋市の対応」…有安 敬氏(豊橋市副市長)
・「災害時の交通と輸送」…廣畠 康裕 (豊橋技術科学大学 教授)
・「災害時の自然エネルギー利用」…滝川 浩史 (豊橋技術科学大学 教授)

16:40 総合討論

16:55 閉会挨拶 角田 範義(副学長、未来ピークルシティリサーチセンター長)

★シンポジウム終了後、交流会を開催いたします。(会場:学内ひばりラウンジ 会費:2,000円)

豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター 防災・日本再生シンポジウム 参加申込書

- 参加申込書は、E-mailで必要項目を記入してもらるか、あるいはFAXにてご連絡いただければ幸いです。
- 参加申込書の締切は、平成23年11月30日(水)としますが、締め切り後も可能な限り対応させていただきますので遠慮なくご一報下さい。

機関名	
役 職	
御氏名	
御連絡先	住 所 〒 _____ TEL _____ FAX _____ E-mail _____
交流会 (会費2,000円)	参 加 ・ 不 参 加 (どちらかを○で囲んで下さい)

■交通のご案内



お申し込み・問い合わせ先

安全安心地域共創リサーチセンター(担当:古賀・佐野・柴田)
〒441-8580豊橋市天伯町雲雀丘1-1

TEL:0532-44-1320 FAX:0532-44-6568

もしくは 0532-44-6574 E-mail:carm@office.tut.ac.jp



日時：平成23年10月25日（火）13：20～16：40

場所：アクトシティ浜松 コンgressセンター4階 43会議室

「コーディネーターエコシステム(CES)チーム」では、本年度は浜松・東三河地域が目指す4つの事業領域毎の研修会を予定しています。

第1回目は、「自動車用次世代技術領域」の研修会を行います。両地域のコーディネーターならびに産学連携関係者の皆さまにとって、領域の強化や地域の関係事項を知る研修として構成しておりますので、奮ってご参加ください。

対象

浜松・東三河地域のコーディネーターと産学連携関係者

定員

60名

参加費

無料(主催者負担)

プログラム

主催：浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会 事業開発部

- ◆13:20～13:30 **開会:オリエンテーション**
「本日の主旨と内容」 CES自動車用次世代技術領域グループ
- ◆13:30～14:00 **研修セミナー1**
「動力用バッテリー技術の変遷について」
ヤマハ発動機(株)技術本部 研究開発統括部 SPプロジェクト推進グループリーダー 主管 稲波 純一 氏
- ◆14:00～14:50 **研修セミナー2**
「自動車産業の変容と事業創出のイノベーション行動」
名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授 山田 基成 氏
- <休憩10分>
- ◆15:00～15:40 **地域情報研修-1**
「豊橋技術科学大学・未来ビークルシティリサーチセンターの活動と今後」
豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルシティリサーチセンター長 教授 角田 範義 氏
- ◆15:40～16:00 **地域情報研修-2**
「はままつ次世代環境車社会実験協議会 実証実験中間報告」
浜松市 産業部 産業振興課
- ◆16:00～16:40 **ワーキング**
「地域コーディネーター集団の実績向上に向けて」 参加者全員
- ◆16:40 **閉会**



研修会終了後、会費制にて簡単な**交流会**を行います
相互の懇親と情報交換のために是非ともご参加ください

問合せ
申込

財団法人浜松地域テクノポリス推進機構
〒432-8036 浜松市中区東伊場二丁目7-1
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100
E-mail: kyoten@hamatech.or.jp

あて先)財団法人浜松地域テクノポリス推進機構

FAX 053-450-2100

平成23年度第1回CES研修会《10/25(火)開催》参加申込書

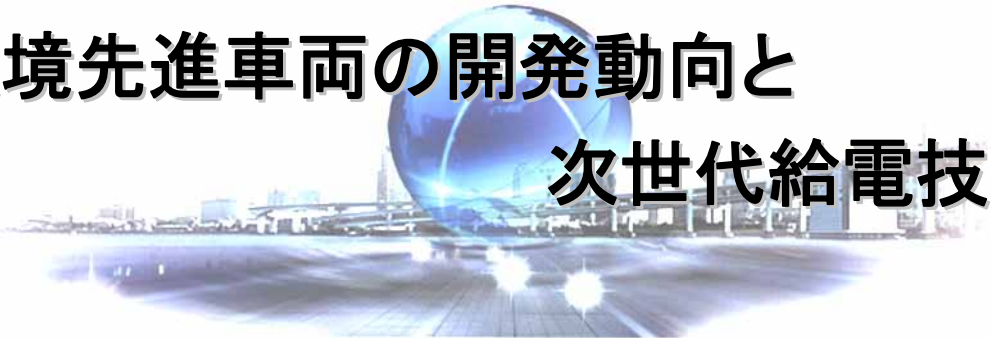
申込期限：10月20日(木)

所属 機関名			
参加者名	所属部署	役職	
	ご氏名	交流会 ()に○をご記入ください	参加予定()・参加しない()
連絡先 (CES研修会初参加の方は記入ください)		TEL:	E-mail:

※お申し込みの際にお伺いする個人情報は、参加者名簿の作成、産学官連携拠点に関する情報提供以外、その他の目的には使用いたしません。

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
第16回シンポジウム

「環境先進車両の開発動向と 次世代給電技術」



- 日時：平成24年12月10日(月)13:30～16:10
- 場所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
- 後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会
- 協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～13:35 | 開会挨拶
豊橋技術科学大学 副学長
未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義 |
| 13:35～14:25 | 【講演1】
「走行中の電気自動車へ路面から給電する技術の開発」
豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授 太平 孝 |
| 14:25～14:35 | 休憩 |
| 14:35～15:25 | 【講演2】
「スズキの電気自動車開発への取り組み」
スズキ（株）開発企画部
第二プロジェクト 技術専門職 川島 博幸 氏 |
| 15:25～16:05 | 【講演3】
「次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組み」
中部経済産業局
次世代自動車室長 柳原 和男 氏 |
| 16:05～16:10 | 閉会挨拶
豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司 |

ポスター募集！

小学生、中学生のみんな、ぜひ応募してね！
(かんじがよめないこは、おとなによんでもらってね！)

未来の‘のりもの’コンクール

「乗ってみたいな」「あると便利だな」
そんな 夢のある ‘のりもの’ を
絵に描いて応募しよう！

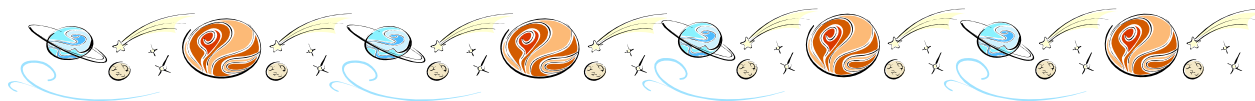
in ものづくり博2012



応募について

期間：6月1日～9月14日
対象：東三河の小学生・中学生
方法：次の3点をそろえて申し込み

- ①ハつ切り画用紙
「夢の ‘のりもの’ を描いたもの」
- ②アイデア用紙（指定用紙）
「描いた絵の説明」
- ③ 参加申込書（裏面）



表彰・展示

表彰：優秀作品をものづくり博会場にて表彰
【副賞】エコエネルギー実験キット（来年の自由研究に！）

展示：応募作品はすべてものづくり博会場に展示
【参加賞】応募者のうち200名に会場にて素敵な文房具を
お渡しします



SAMPLE

副賞：
エコ・エネルギーカーの
工作キット

ものづくり博2012 in 東三河

日時：11月30日（金）～12月1日（土）

午前10時～午後5時

会場：豊橋市総合体育館

★くわしくはこちら

<http://www.monohaku.info/2012/outline.html>

主催：豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター， 豊橋ものづくり振興会

審査

- 【基準】
- ①みらいののりものとして「夢」がある
 - ②素材やしくみが「おもしろい」
 - ③「デザイン」がよい

【審査委員長】 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義

【審査委員会】 未来ビークルシティリサーチセンター

ものづくり博 in 東三河 ポスターコンクール運営委員会

表彰

【表彰式】 平成24年12月1日(土) ものづくり博会場

【賞】 小学校の部 ・中学校の部

金賞： 賞状と副賞(工作実験キット+図書券3,000円分)

銀賞： 賞状と副賞(工作実験キット+図書券2,000円分)

銅賞： 賞状と副賞(工作実験キット+図書券1,000円分)

お申込先

【お申込先】 ものづくり博 in 東三河 ポスターコンクール運営委員会

〒440-8508 豊橋市花田町字石塚42-1 豊橋商工会議所内

※学校取りまとめの場合は、学校へ提出して下さい

お問合せ先

【お問合せ先】 「ものづくり博2012in 東三河」事務局

電話 (0532)-53-7211

✂ キリトリ

参加申込書

氏名：

学校名：

学年：

※参加申込書は、会場での展示の際に利用します。

「東三河のものづくりがココに集結！」

ものづくり博

2012 in東三河

入場
無料

会期 平成24年 2012 11/30 fri 12/1 sat
2日間とも 10:00～17:00

会場 豊橋市総合体育館
(豊橋市神野新田町字メノ割1-3)
※無料シャトルバス運行



★トヨタパートナーロボット がやってくる! 第1アリーナ奥

生活環境への適応性が高い二足歩行型の当ロボットが、緻密で繊細な指と手の動きによりバイオリンの演奏を行います。また、「自立歩行アシスト」の展示も行います。

協賛：トヨタ自動車(株)

★燃料電池自動車の展示・試乗会

屋外展示エリア

自動車メーカー 3 社による燃料電池自動車の展示、試乗会を行います。(トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業)

★「ロボットスーツHAL」 「メンタルコミットロボット パロ」 「狭小空間点検ロボットmoogle」 の展示(体験可能) 第1アリーナ奥

協賛：大和ハウス工業(株)



★ものづくりDEスタンプラリー 第1アリーナ

～ブースを回って豪華賞品をGETしよう～

チェックポイントでスタンプを集めると、抽選で3DS(1名)、iPod(4名)、おもちゃ商品券(4名)をプレゼント!

※もれなく参加賞プレゼント!



©Disney

★ものづくり学園祭 第1アリーナ

～楽しみながらものづくりが学べる～

協力：豊橋技術科学大学、愛知工科大学、豊橋工業高校、豊川工業高校

★未来の“のりもの”ポスター コンクール展示会 第1アリーナ

東三河の小・中学生のアイデアあふれるポスターを会場内に展示しております。

共催：豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター

★“地域の絆”商談会2012 2階第1会議室

～ものづくり博で仕事の相手先を見つけよう!～ ※事前申込制

同時開催!!

ええじゃないか!東三河

場所:第2アリーナ

ご当地グルメ・物産大集合

豊橋カレーうどん、いなり寿司、佃煮コロッケなどなど東三河のご当地グルメ・物産が大集合。

試食や飲食もできます!東三河の食づくりをご堪能ください!



〈出店予定〉豊橋カレーうどん／豊川いなり寿司／豊川いなりうどん／有楽製菓株式会社／ヤマサちくわ／トース株式会社／美戸ハム／有限会社シャンドフルール／株式会社平松食品
蒲郡市観光協会こはぜの会／株式会社ローチーズカンパニー／東三河農産加工販売協同組合／豊橋糧食工業株式会社／株式会社一色屋／植田の大まんじゅう／株式会社ミマス
合名会社日野屋商店／株式会社寺部食品／中央製乳株式会社／株式会社G・ファーム／有限会社まてん／株式会社お亀堂／株式会社割烹百珍／アンノ台所 ※変更になる場合がございます。

※写真はイメージです

主催 豊橋ものづくり振興会

ものづくり博2012 in東三河 併催行事

11/30
金曜日

就職を控えた大学生・短大生・専門学生必読!! 東三河就職応援ガイド

共催：東三河学生就職情報センター

受講料：無料(事前申込制)

13:30~14:10
第1部
セミナー

第1
アリーナ奥
特設ステージ

「聴いて得する! 就活スタートアップ講座」

12月からの就活に対する心構えや押さえておくべきポイントをお伝えします。

【講師】

(株)ダイヤモンド・ビッグアンドリッド
名古屋支社長 森 龍二 氏



14:20~15:50
第2部
パネルディス
カッション

「就活に役立つ!! 東三河の「ものづくり企業」研究」

東三河を代表する「ものづくり企業」5社を招いてパネルディスカッションを開催します! 就職活動に関するアドバイスなど地元企業の研究を行います。

【パネリスト】武蔵精密工業㈱、(株)新来島豊橋造船、本多電子(株)、オーエスジー(株)、(株)ニデック(順不同)

★人事担当者・学校就職担当者の方々へ

企業と大学・高校とのものづくり人材マッチング情報交流会

主催：東三河産業創出協議会、三遠南信地域連携ビジョン推進会議

受講料：無料(事前申込制)

ものづくり企業の経営者・人事担当者と学校・教育機関の就職支援ご担当者の方を対象に「人材」(雇用・採用)を切り口とした情報交換会を開催いたします。

13:15~14:15
第1部 セミナー

2 階研修室

「企業・地域・教育機関が連携した人材育成(仮題)」

【講師】ヒューマンリソシア(株) 執行役員 笹尾裕子 氏

14:30~16:30
第2部
情報交流会

少人数ごとのテーブルワークによる情報交流会です。企業対学校との面談形式で行います。

★東三河県庁開設記念

東三河産学官連携連続講演会(第2回 新分野進出推進フォーラム)

主催：愛知県

受講料：無料(事前申込制)

13:30~16:00
※各40分

2 階
第2会議室

医工・福祉連携等をテーマに地元3大学による講演会を開催します。

【講師】

○豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端研究所准教授
鯉田孝和 氏

○愛知工科大学 電子制御・ロボット工学科教授
大西正敏 氏

○豊橋創造大学大学院 健康科学研究科・研究科長・教授
後藤勝正 氏

12/1
土曜日

植物工場シンポジウム 主催：(株)サイエンス・クリエイト

受講料：無料(事前申込制)

10:00~12:00

2 階研修室

基調講演：「太陽光利用型工場の今後の展望について」(仮)

講 師：豊橋技術科学大学
先端農業・バイオリサーチセンター
特任教授 三枝正彦 氏

小中学生向け!! ものづくり製作教室 主催：エコカーチャンピオンシップ運営委員会

10:00~16:00

第1アリーナ

エコライダーの製作

風力で発電してLEDが点灯する「エコライダー」を製作します。

参加料：無料 ※数に限りがあります。

★豊橋商工会議所創立120周年「特別記念講演会」

「研究と創造」～ものづくりの原点～

受講料：無料(事前申込制)

14:00~15:00

ホテル
シーパレス
リゾート2F

自動車とともに歩まれたご自身のモノづくりのご経験をともに、モノづくりの大切さや人材育成の重要性などをお話し頂きます。

講 師：トヨタ自動車(株)
名誉会長 豊田章一郎 氏

※会場が異なりますので、ご注意ください。
隣接会場となります



出展企業

86企業・団体(142.5 小間)

※コーナー別 (50音順、()内数字は企業・団体数)

■工業コーナー(22)

アイセロ化学(株)／(株)イズミテック／伊藤光学工業(株)／(株)イマダ／宇都宮工業(株)／オーエスジー(株)／花王(株)豊橋工場／(株)樹研工業／(株)ソリッドクラフト／太陽出版(株)／大三紙業(株)／TMEHジャパン(株)／東海光学(株)／(株)トヨテック／(株)豊明エンジニアリング／(株)トンボ鉛筆 中部店／日東電工(株)豊橋事業所／(株)ニデック／(株)フカミ／本多プラス(株)／三鷹製版(株)／(株)ヤマト

■鉄工コーナー(21)

(株)曙製作所／(株)蒲郡製作所／(株)近藤製作所／(株)シーヴィテック／大森木材(株)／新東工業(株)豊川製作所
●豊橋鉄工会
旭精機(株)／アダチ鋼材(株)／(株)三光製作所／(株)新来島豊橋造船／シンフォニアテクノロジー(株)／竹沢産業(株)／(株)テイス／トビー工業(株)／豊橋鉄工会PRコーナー／西島(株)／(株)紅久商店／豊国工業(株)／(株)丸上製作所／宮川工機(株)／武蔵精密工業(株)

■電子・通信コーナー(9)

音羽電子システム(株)／(株)サードウェーブテクノロジー／田中電機(株)／デブロボ販売(株)浜松営業所／(株)浜西電機／(株)ヒミカ／(株)富士通コンピュータテクノロジー／本多電子(株)／(株)ネットコム

■エネルギーコーナー(3)

(株)荒木石油店／サーラグループ／中部電力(株)豊橋営業所

■建築・木工コーナー(4)

(株)オノコム／玄々化学工業(株)／豊橋木工(株)／鳳来製材協同組合

■食品コーナー(3)

杉本屋製菓(株)／中央製乳(株)／東海漬物(株)

■サービスコーナー(2)

(株)アーバス／(株)夏目デザイン

■自動車関連コーナー(1)

(株)吉田商会

■繊維コーナー(2)

豊橋繊維振興会〔岡本漁網(株)／(株)ジュクト〕／愛知県(繊維・窯業)

■研究会・団体・支援機関(10)

●チタニックス研究会(9)
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター／昭和医科工業(株)／(有)竹内可鍛工業所／東北大学 金属材料研究所／新久保 操／(株)豊栄工業／一般社団法人日本チタン協会／橋本螺子(株)／(株)吉見製作所
●愛知県(環境ビジネス発信事業)〔(有)環境テクシス、(株)環境スーパーテクノ、山田塗装(株)、(株)イズライフ、東海エコ工業(株)、トエイ(株)、(株)富田組、日之出(株)、和光技研工業(株)〕
愛知県信用保証協会／湖西市商工会「湖西市モノづくりひろめ隊」／(株)サイエンス・クリエイト(食農産業クラスター・植物工場)／美立吉(大連)国際貿易有限公司、星海模具有限公司、大連衆益工業技術有限公司 3社合同／豊橋商工会議所／(株)日本政策金融公庫／三河港振興会／三遠南信クラスター推進会議／福井ファイバートック(株)、エイアールブイ(株)〕

■学校コーナー(ものづくり学園祭)

豊橋技術科学大学／愛知工科大学／豊橋工業高等学校／豊川工業高等学校

■その他特別展示コーナー

豊橋・豊川・蒲郡少年少女発明クラブ／とよはしの匠／高校生技術アイデア賞

会場ご案内図



●交通／JR豊橋駅東口より
無料シャトルバス運行
期間中、30分間隔にて運行

豊橋ものづくり振興会

〒440-8508 豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

TEL.0532-53-7211 FAX.0532-53-7210

E-mail kaigisho@toyohashi-cci.or.jp

http://www.monohaku.info/

主催

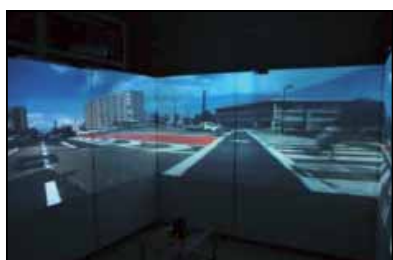
後援

協賛

中部経済産業局、愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、豊橋商工会議所、豊川商工会議所、蒲郡商工会議所、愛知県商工会連合会東三河支部、新城設楽支部、田原市商工会、新城市商工会、浜松商工会議所、飯田商工会議所、豊橋市教育委員会、公益社団法人 豊橋青年会議所、NHK豊橋支局、東愛知新聞社(以上予定)

豊橋技術科学大学、(株)サイエンス・クリエイト、東三河産業創出協議会、地域産業活性化東三河協議会、一般社団法人 日本電気計測器工業会、一般社団法人日本電気制御機器工業会、中日新聞社、日刊工業新聞社、中部経済新聞社、東海日日新聞社、(以上 予定)

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 研究成果展示 『低炭素と安心安全を目指す街：豊橋』



と き：1月7日（月）～1月11日（金）

10:00～16:00（月曜日のみ13:00～）

ところ：豊橋市役所 東館1階 市民ギャラリー

内 容：未来ビークルシティリサーチセンターで行っている持続的に発展する低炭素社会の構築と安心・安全都市の創成を目指す取り組みに関する研究成果を、ポスター展示、ドライビングシミュレータ、マルチプロジェクションシステム、電化道路電気自動車 1/10 モデル動態などのデモンストレーションを通じて紹介します。

○研究紹介パネル

★期間中、終日展示しております。

○体験および実演

- ・電化道路電気自動車 1/10 モデル動態実演 1/7 13:00～16:00
- ・マルチプロジェクションシステムの体験 1/7 13:00～16:00
- 1/8～11 10:00～16:00
- ・ドライビングシミュレータの運用体験等 1/10, 11 10:00～16:00

○ものづくり博 2012 in 東三河

未来の“のりもの”ポスターコンクール優秀作品の展示

★期間中、終日展示しております。

ぜひだいがやってくる ecoエネを感じよう!

のってみよう!

電動バス試乗

※雨天中止

試乗
無料



動画をWEBでチェック!



紙風車の工作教室

参加
無料

つくってみよう!



温室内
憩いのへや

中央門



平成25年

11/16^土

9:30~14:30



EVバス
のりば
中央門→噴水前

のんほいパーク
NON HOI PARK



豊橋技術科学大学
〒441-8580
愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

主催/国立大学法人 豊橋技術科学大学
未来ピークルシティリサーチセンター
滝川・須田研究室



後援/豊橋市

文部科学省特別経費

サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業

～低炭素社会における安全安心なビークルシティ～

未来ビークルシティリサーチセンター講演会

サステナブルな社会における
未来ビークルシティ事業

本センターは、現在進められている車を中心とした次世代自動車の開発という観点とは異なり、

今までの自動車を中心(ハード)とする街づくりから弱者や歩行者の視線に重きを置いた

(ソフト)未来の自動車街(未来ビークルシティ)を目指しています。

そのため、持続的に発展可能な「低炭素社会」や「安全・安心社会」と言う2つの目標を掲げています。

その中でも、本地域の利点である三河港を念頭に置く電気自動車社会の構築です。

低炭素社会では電気自動車が重要な役割を果たしますが、電気自動車の弱点は、

電池の能力と充電に関する問題であり、それが長距離移動の難しさを浮き彫りにしています。

それらの技術的な克服と三河港利用による街づくりを通じた電気自動車社会の構築を目指しています。

今回は、本センターの研究課題の中で、新しい給電方式による電気自動車、

経済効果、電池技術の3分野について紹介したいと思います。

講演者

豊橋技術科学大学

電気・電子情報工学系 教授 大平 孝

豊橋技術科学大学

建築・都市システム学系 准教授 渋谷 博幸

豊橋技術科学大学

電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

平成25年11月7日(木)

時間 18:00～20:00

場所 田原文化会館 多目的ホール
(田原市田原町汐見5番地)

参加費無料

■お申し込み・お問い合わせ

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター(研究協力課)

TEL:0532-44-6574 FAX:0532-44-6568

E-mail:rcfvc@office.tut.ac.jp



国立大学法人

豊橋技術科学大学

プログラム

18:00~18:05 開会挨拶

豊橋技術科学大学 副学長
未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義

18:05~18:50 講演 1

「未来の電気自動車」

豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授 大平 孝

18:50~19:00 休 憩

19:00~19:30 講演 2

「未来ビークルと港湾の地域経済への影響」

豊橋技術科学大学
建築・都市システム学系 准教授 渋谷 博幸

19:30~20:00 講演 3

「リチウムイオン電池の現状と課題」

豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

■お申し込み・お問い合わせ

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター(研究協力課)
TEL:0532-44-6574 FAX:0532-44-6568
E-mail:rcfvc@office.tut.ac.jp

参加申込書 以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。

申込先

未来ビークルシティリサーチセンター(研究協力課研究センター係)
FAX:0532-44-6568 E-mail:rcfvc@office.tut.ac.jp

お名前			
所属・役職			
TEL		FAX	
E-mail			

*参加申込メ切:平成25年10月31日(木)

ぎかだいが やってくる



体験!

未来ビークルシティ

「iijiri」に
楽しく体験
イベントがよー



平成25年

11月23日(祝・土)・24日(日) *両日 10:00~16:00

場所 こども未来館こここ(イベント広場、企画展示室 他) 内容 体験(4種類)、スタンプラリー、お絵かき、ポスター展示

- 体験しよう! ここ、わたってあんぜんかな? しんごう、みえるかな? 場所/企画展示室 対象/子どもから大人までどなたでも
- 体験しよう! 運転手からはどうみえる? ひとや自転車、道路やまちなみ 場所/イベント広場 対象/小学5年生以上高校生まで
- 体験しよう! やってみよう!くるまのうんてん 場所/イベント広場 対象/子どもから大人までどなたでも
- 体験しよう! きみもレーシングカーのドライバー 場所/ギャラリーストリート 対象/子どもから大人までどなたでも
- スタンプラリー&クイズにチャレンジ! 場所/イベント広場 対象/子どもから大人までどなたでも
- お絵かきしよう!ぼく・わたしの未来の「のりもの」 場所/イベント広場 対象/お絵かきのできる子ども
- 未来ビークルシティリサーチセンターってなあに? 場所/イベント広場 対象/どなたでも

この企画の事前申し込みが必要です

●3名以内のグループでお申し込みください。小学生・中学生の場合は保護者同伴をお願いします。保護者はグループ構成の「3名」に含めなくても構いません。高校生は単独もしくは高校生同士のグループでお申し込みください。
●体験時間: 23、24日の4つの時間帯のいずれかに割り振ります。申し込み多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。

T お申し込み 豊橋技術科学大学 研究協力課研究センター係 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
お問い合わせ TEL/0532-44-6574 FAX/0532-44-6568 E-mail/rcfvc@office.tut.ac.jp

主催/国立大学法人 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援/豊橋市

ぎかだい やってくる

体験!

未来ビーグルシティ

おでかけミニ講座

平成25年

11月23日(祝・土)・24日(日)

*両日 10:00~16:00

体験しよう! ここ、わたってあんぜんかな? しんごう、みえるかな?

場所/企画展示室 対象/子どもから大人までどなたでも
内容/交差点で撮影した全方位映像や横断歩道などで車が向ってくる映像を全周囲に投影することで、道路などでの危険を感じてもらいます。また、高齢者や色盲の方のシミュレーション映像を投影することで、いろんな人の見え方が体験できます。(暗くした部屋の真ん中に座って、全周囲に投影された映像を見ます。)

体験しよう! やってみよう! くるまのうんてん

場所/イベント広場 対象/子どもから大人までどなたでも
内容/ドライビングシミュレータを使ってクルマの運転を体験します
*体験者には「シミュレータ運転免許証」を発行します

体験しよう! きみもレーシングカーのドライバー

場所/ギャラリーストリート 対象/子どもから大人までどなたでも
内容/第11回全日本学生フォーミュラ大会に参加したレーシングカーを展示します。運転席に座ることができます。

スタンプラリー&クイズにチャレンジ!

場所/イベント広場 対象/子どもから大人までどなたでも
内容/未来ビーグルシティリサーチセンターで取り組む研究に関連したクイズに挑戦します。すべて3択の問題で、どなたでもチャレンジできます。

お絵かきしよう! ぼく・わたしの未来の「のりもの」

場所/イベント広場 対象/お絵かきのできる子ども
内容/自分で考えた夢のある「のりもの」を絵に描いて、会場にかざります。

未来ビーグルシティリサーチセンターってなあに?

場所/イベント広場 対象/どなたでも
内容/未来ビーグルシティリサーチセンターで取り組む研究を紹介します。(ポスター展示)

体験しよう! 運転手からはどうみえる? ひとや自転車、道路やまちなみ

この企画のみ
事前申込みが必要です

場所/イベント広場

対象/小学5年生以上高校生まで

*3名以内のグループでお申し込みください。小学生・中学生の場合は保護者同伴をお願いします。保護者はグループ構成の「3名」に含めなくても構いません。高校生は単独もしくは高校生同士のグループでお申し込みください。

内容/ドライビングシミュレータを使って、クルマの運転手(ドライバ)から人や自転車がどのように見えるのか、どんなふうにもちや道路が変わると安全なのかを体験します(所要時間1時間程度)。

*サポートスタッフのアドバイスのもとに、パソコンの操作を行います。*体験者には「修了証」を授与します。

体験時間/23、24日の4つの時間帯のいずれかに割り振ります。申し込み多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。

①10:00~11:00 ②11:15~12:15 ③13:30~14:30 ④14:45~15:45

定員/各時間帯3組まで *2日間で24組(3組×4回×2日)

申込期限/11月15日(金)必着

事前申込方法

はがき、電話、FAX、メールのどれかでお申し込みください。申込みの際には次の内容をお知らせください。

●講座名: 運転手からはどうみえる? ひとや自転車、道路やまちなみ

●希望日・時間帯(複数選択可)

体験する日・時間帯の希望	なし ・ あり	「あり」の場合は希望時間帯を選んでください(複数選択可)	23日午前 ・ 23日午後 ・ 24日午前 ・ 24日午後
--------------	---------	------------------------------	-------------------------------

●参加者全員の氏名、学年

体験者1	氏名	小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 保護者	学年	年
体験者2	氏名	小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 保護者	学年	年
体験者3	氏名	小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 保護者	学年	年
付き添い	氏名	氏名	氏名	

*体験者が小・中学生で、保護者を体験者に含めない場合は、必ず最低1名は大人が付き添ってください

●代表者の氏名、住所、電話番号

代表者	氏名	住所	電話番号
-----	----	----	------

お申し込み
お問い合わせ

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学 研究協力課研究センター係
TEL/0532-44-6574 FAX/0532-44-6568 メール/rcfvc@office.tut.ac.jp

三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
第17回シンポジウム



EV

「電池が拓く 新しいビークル社会」

— その後5年の歩みと、今後の展望 —

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両の開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。

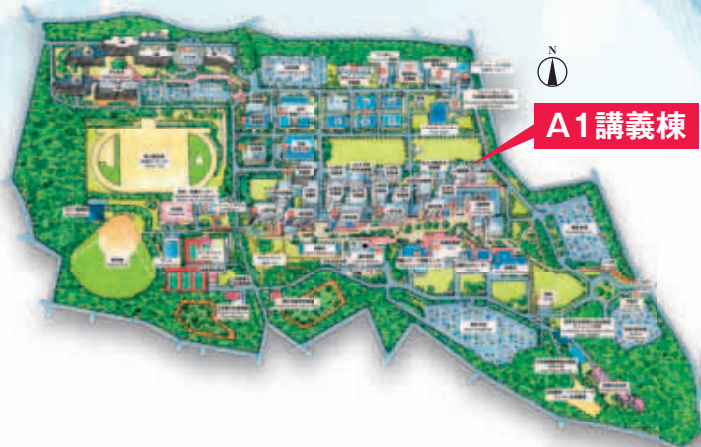
5年前に本学で開催したシンポジウムでは、「電池が拓く新しいビークル社会」を主題として、高性能二次電池の開発・車載応用ならびにプラグインハイブリッド車・電気自動車など次世代自動車の現状と将来に関して議論致しました。今回は、その後5年の歩みを振り返るとともに今後の展望について、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

平成 **25** 年
12 月 **9** 日 月

時間: 13:30~16:20

豊橋技術科学大学
A1講義棟 A1-301

豊橋技術科学大学キャンパスマップ



■主 催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター、三遠南信クラスター推進会議

■後 援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

■協 賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会

時 間	プログラム	講演者
13:30～ 13:35	開会挨拶	豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義
13:35～ 14:25	【講演1】 「xEVの市場展望と電池業界の課題」	(株)野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部 上級コンサルタント 風間 智英 氏
14:25～ 14:35	休 憩	
14:35～ 15:25	【講演2】 「バッテリーの高エネルギー化に向けた 材料課題と解析技術」	日産自動車(株)総合研究所 先端材料研究所 主管研究員 秦野 正治 氏
15:25～ 16:15	【講演3】 「パナソニックでのビークル社会への 貢献と将来動向」	パナソニック(株) オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 技術本部 エナジー開発C 技術企画G グループマネージャー 湯浅 浩次 氏
16:15～ 16:20	閉会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

- 参 加 費：無料
- 参 加 申 込 切：平成25年12月2日(月)
- 申 込 方 法：氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて下記まで。
- 申 込 先：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター(研究協力課研究センター係)
E-mail: rcfvc@office.tut.ac.jp、Tel. : 0532-44-6574、FAX : 0532-44-6568
三遠南信クラスター推進会議 事務局 豊橋商工会議所経営革新サポートチーム
E-mail: matsuzaka@toyohashi-cci.or.jp、Tel. : 0532-53-7211、FAX : 0532-53-7210
- 世話人・問合せ先：豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司
E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp、Tel./FAX : 0532-44-6722

【申 込 書】

豊橋技術科学大学研究協力課研究センター係 行【FAX.0532-44-6568】

「電池が拓く新しいビークル社会」― その後5年の歩みと、今後の展望 ―【12月9日(月)】

事業所名			
参加者氏名		役職	
参加者氏名		役職	
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

上記申込書に、事業所名、氏名、所在地、電話番号、FAX 番号をご記入の上、郵送または FAX にてお申し込みください。上記 E-mail アドレスに送っていただいても結構です。
ご記入いただいた情報は、豊橋技術科学大学および商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用するほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。

ビークルシティ の未来

本講座では、二酸化炭素の排出量を低減する「低炭素社会」と少子高齢化に伴う「安全・安心社会」をキーワードとして、持続的に発展可能な社会にふさわしいビークルシティのあり方と豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンターの取り組みについて、分かりやすく解説します。

受講料無料

定員／200名程度

地域の方に、科学、技術、ものづくりの面白さを知っていただくため、初歩からリフレッシュ教育的内容まで含め、最先端の研究、成果と社会への還元、技術科学と解決策、技術・製品開発、などについて講義します。

11/7

金

時間 午後6時30分～8時

会場 A2-101講義室

電動二輪車に乗ってみますか？－普及に向けた環境心理学研究－

環境を守りたいという意識を持っている人は多いのですが、実際に環境により活動をしている人はそれほど多くありません。このギャップを埋めるための研究が盛んに行われています。本講座では電動二輪車（電動アシストつき自転車や電動バイク）に関して、このギャップを考えてみましょう。

講師 後藤 尚弘 准教授（環境・生命工学系）

11/28

金

時間 午後6時30分～8時

会場 A2-101講義室

未来ビークル導入の環境・経済的影響評価

豊橋市を対象地域として、豊橋市において電気自動車普及した場合に、豊橋市の経済や環境（主としてCO₂）にどのような影響があるのかをシミュレーションした結果を分かり易く解説する。また長距離旅客輸送においてガソリン車利用からフェリー利用への転換についても解説する。

講師 宮田 譲 教授 渋澤 博幸 准教授（建築・都市システム学系）

12/5

金

時間 午後6時30分～8時

会場 A2-101講義室

未来ビークルシティと交通システム

現在の都市交通はマイカーに過度に依存する体系となっているが、超高齢社会を迎え、そのような状況からの脱却が求められている。本講座では、交通計画学の立場から高齢社会における地域交通のあり方を考えるとともに、地域公共交通の状況や関連施策に対する住民アンケートの結果の分析等の研究成果を紹介したい。

講師 廣島 康裕 教授（建築・都市システム学系）

ところ 豊橋技術科学大学（豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1） 対象 一般市民（高校生以上）

申し込み 随時、申込書を豊橋技術科学大学総務課地域連携係まで
（FAX 0532-44-6509 あるいは、E-mail chiren@office.tut.ac.jp）

※申込書はこのチラシの裏面及びホームページ（<http://www.tut.ac.jp/cooperation/ecourse.html>）に掲載

●修了証書／全3回受講した方には修了証書を授与

問い合わせ先 国立大学法人豊橋技術科学大学総務課地域連携係
Tel.0532-44-6569

国立大学法人
豊橋技術科学大学

※FAXの方は、このまま送信してください。

豊橋技術科学大学 総務課地域連携係
Fax.0532-44-6509

平成26年度 豊橋技術科学大学一般公開講座

「ビークルシティの未来」 受講申込書

※受講者番号		※受付日	月 日		
受講希望コース (ご希望の講座を○で 囲んでください。)	・ 全3回 ・ 第1回(11/7) ・ 第2回(11/28) ・ 第3回(12/5)				
ふりがな 氏 名		性 別	男 ・ 女	年 齢	歳
住 所	(〒) 電話番号 () FAX () Eメール				
職 業	1. 会社員 会社員(技術系・事務系・営業・その他()) 2. 教 員 3. 公務員 4. 学 生 — 高校生・大学生・大学院生・その他() 5. その他 — 主婦・無職・その他() 該当箇所を○で囲んでください。「その他」については、適宜ご記入願います。				

※ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には、使用いたしません。
※お申し込みいただいた方に対し、本学より受理の通知はいたしませんので、当日直接会場にお越しください。

豊橋技術科学大学

未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム

参加費無料

低炭素社会における産業育成および 安全・安心なビークルシティ

日時 平成27年 **3月10日** 13:00~17:00

会場 豊橋商工会議所 9F 大ホール

未来ビークルシティリサーチセンターでは、平成22年度から『サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業』において、CO₂を低減する「低炭素社会」と少子高齢化に伴う「安全・安心社会」を重点課題としてとらえ、「持続的に発展可能な社会」にふさわしいビークルシティの構築を目指した調査研究活動を実施してきました。

本シンポジウムでは本事業5年間の活動を報告するとともに、この分野の第一線で活躍されている方々にご講演いただき、パネルディスカッションを通じて今後の展望にも触れていただきます。



第1部 — 研究成果報告 —

大平 孝 (電気・電子情報工学系 教授) 宮田 譲 (建築・都市システム学系 教授)
章 忠 (機械工学系 教授) 滝川浩史 (電気・電子情報工学系 教授)
金澤 靖 (情報・知能工学系 准教授)

第2部 — パネルディスカッション —

低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ

パネラー

豊橋市環境部温暖化対策推進室長 黒柳 哲禎 氏

国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長 鈴木 信昭 氏

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長 林 良嗣 氏

経済産業省中部経済産業局産業部自動車関連産業室長 柳原 和男 氏

株式会社デンソー ディーゼルシステム技術部担当部長 小久保直樹 氏

モデレーター

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義

主催／豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援／経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部地方整備局、豊橋市、田原市、
豊橋商工会議所、田原市商工会、田原臨海企業懇話会、三河港振興会



文部科学省特別経費

サステナブルな社会における
未来ビークルシティ事業

低炭素社会における
安全・安心なビークルシティ

意見交換会

会費：3,000円

シンポジウム終了後、
豊橋商工会議所 地下1階において
『意見交換会』を行います。

お問合せ

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター(研究支援課研究センター係)

TEL: 0532-44-6574 E-mail: rcfvc@office.tut.ac.jp



国立大学法人
豊橋技術科学大学

プログラム

司会：電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

13:00-13:10 挨拶 大西 隆（豊橋技術科学大学長）

13:10-14:10 第1部 ― 研究成果報告 ―

○バッテリーレス電動カートの走行実験	大平 孝
○ドライバ個性に着目した社会共生型安全運転支援に関する研究	草 忠
○交通弱者の安全・安心のためのシステムの開発	金澤 靖
○豊橋市における電気自動車導入の環境・経済的影響評価	宮田 譲
○未来ビークルライフに向けたエネルギーの創生と利用	滝川 浩史

14:10-14:25 休憩

14:25-16:45 第2部 ― パネルディスカッション ―

低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ

14:25-15:50 ■ 話題提供

- 豊橋市における地球温暖化防止の取り組みについて
豊橋市環境部温暖化対策推進室長 黒柳 哲禎 氏
- 三河港における自動車産業の利用状況と港湾整備について
国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長 鈴木 信昭 氏
- 交通と低炭素社会における取り組みについて
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長 林 良嗣 氏
- 自動車産業の最近の動向と中部地域の取組について
経済産業省中部経済産業局産業部自動車関連産業室長 柳原 和男 氏
- クリーンディーゼルエンジンを支える技術取り組み
株式会社デンソー ディーゼルシステム技術部担当部長 小久保直樹 氏

15:50-16:00 休憩

16:00-16:45 ■ 討論 パネラー：黒柳 哲禎、鈴木 信昭、林 良嗣、柳原 和男、小久保 直樹
モデレーター：角田 範義（未来ビークルシティリサーチセンター長）

16:45-17:00 質疑応答（1部、2部通して）

17:00-17:05 閉会挨拶 角田 範義（未来ビークルシティリサーチセンター長）

参加申込書

以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。

【申込先】未来ビークルシティリサーチセンター（研究支援課研究センター係）

FAX:0532-44-6568 E-mail:rcfvc@office.tut.ac.jp

お名前			
会社名等 所属		部署・役職	
TEL		FAX	
意見交換会 (会費3,000円)	参加 ・ 不参加 （どちらかを○で囲んでください）		

参加申込メ切：平成27年3月6日（金） ただし、事前申込みがなくてもご参加いただけます。

※ご記入いただいた情報は、豊橋技術科学大学からの各種連絡・情報提供のため利用することがあります。